

選評

生命を謳歌し元氣配る



絹谷幸二(洋画家)

パンデミックに国際紛争など苦しい時代のなか、近藤さんは色彩を使って生命を謳歌する作品を制作している。人々の幸せを思い、元気を配るような作品は、まるで私の同志のよう。この賞が彼女の次の励みになればと思う。

大小島さんは、世界に目を向け、生きとし生けるものと語り合いつつ仕事を進めている素晴らしい人。芸術というものを心底、理解して生活しながら、絵を描いておられる。これからの日本をしようと立つ若い人を育てたいと始めた賞なので、2人には大いに期待している。

大胆な構図と色彩 圧倒

島敦彦(国立国際美術館館長)

今回、推薦者70人余りから68人の候補が挙がったが、驚いたのは近藤さんを推薦する人が5人もいたということ。多数決で決めるわけではないが、その作品の大胆な構図と色彩に圧倒され、満場一致で大賞に決めた。絹谷氏のエネルギーあふれる作風にも通じており、第1回の大賞にふさわしいだろうと思う。

大小島さんは遠くから俯瞰するような視点から地球環境をダイナミックにとらえ、世界各地でながしるにされつつあるかけがえのない命を大切にしたい作品を描いている。そこには宇宙的な広がりも見える。

タフな線 野太い生命感

建昌哲(埼玉県立近代美術館館長)

受賞スピーチを聞いて、2人とも3歳のころから絵を描いていたというが、絵描きというのはいままでと改めて感じた。68人の候補のなか、2人は早い段階で受賞が決まった。

近藤さんは華麗な色彩もさることながら、タフな線に野太い生命感がある。画家の腕力が印象的な作品のように感じられるのである。一方、大小島さんは緻密な絵という印象がある。どこか不穏なイメージも漂っている。

生命感と細やかさは、絹谷氏の絵画の2つの側面。その意味で第1回にふさわしい選考になった。

生きることは描くこと



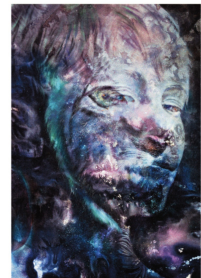
近藤亜樹《星、光る》2021年 acrylic on panel 227.3×545.4cm Copyright the artist. Courtesy of ShugoArts. Photo by 奥山茂俊

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」



大小島真木《同じさの補遺として - As a supplement to sameness》(Size : h161.7×w111.7×d3.2cm) Year 2023©Maki Ohkijima

想像力働かせた芸術を

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」

「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」
「絵には夢があり、なんでもできる。飛んでいる鳥も止まらず、温かさも冷たさも表現できる。その世界に入りたい。自由な心で。」



大賞 近藤亜樹さん

こども・あま 1987(昭和62)年、北海道生まれ。東北芸術工科大学大学院修了。強い線と色彩でエネルギーあふれる絵画を生み出している。



奨励賞 大小島真木さん

インド、ポランド、中国、メキシコなど世界各地で滞在制作を行ってきた。来年3月からは文化庁からの派遣で再びメキシコに渡り1年間、現地の文化やアートを学ぶのだという。

絹谷幸二賞 附賞

40歳以下の才能あふれる美術作家を顕彰する「絹谷幸二芸術賞」の創刊90周年を記念して、この賞(産経新聞社、絹谷幸二賞)から始まり、第1回の大賞は近藤亜樹さん(36)に決まった。奨励賞には大小島真木さん(36)が選ばれた。先月28日は東京・千代田区のサンテラザで発表式と授賞式が行われ、それぞれが喜びを語った。(正木利和)



若い美術家支援

日本を代表する洋画家で令和3年に文化勲章を受章した絹谷幸二氏が若手美術作家を支援したいとの思いから創設。産経新聞創刊90周年事業として実施している。全国の美術館学芸員、美術関係者など約200人に40歳以下の画家の推薦を依頼。推薦状をもとに絹谷幸二氏、島敦彦氏、建昌哲氏の3人による審査で、大賞1人、奨励賞1人を決定した。



絹谷幸二芸術賞の公式サイトはこちら

【主催】 絹谷幸二芸術賞実行委員会、産経新聞社、一般財団法人絹谷幸二美術財団
【共催】 チャーム・ケア・コーポレーション
【協力】 サクラクレパス

推薦者(74人)

- 青木加苗、飯田志保子、五十嵐卓、石倉敬明、石崎尚、伊藤圭一郎、伊藤貴弘、岩波昭彦、植松篤、内田真由美、内呂博之、内海潤也、大下裕司、O JUN、岡里崇、岡本祥、勝山滋、加藤

- 山藤衣子、野地耕一郎、野田尚悠、野中祐美子、林寿美、原舞子、榎泉綾子、藤川悠、古川文子、保坂健二郎、堀元彰、柳田倫広、真武真喜子、三井知行、森啓輔、森千花、柳沢秀行、山口裕美、山下裕二、山田志麻子、山本淳夫、山本麻友美、横山由季子、吉川神津夫、米田晴子、和田浩一(敬称略、五十音順)



CCC AGH CHARM CARE CORPORATION ART GALLERY HOME

チャーム・ケア・コーポレーションは 介護企業ならではの視点で 若いアーティストへの支援を通じ 社会への貢献を目指します。

※ART GALLERY HOMEとは、有料老人ホームを運営する株式会社チャーム・ケア・コーポレーションの若手アーティスト支援活動です。様々なプログラムを通じて、若手アーティストと高齢者をつなぎ、双方にも学びや刺激を得る場づくりと、ウェルビーイングの向上に取り組んでいます。



株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション
大阪本社：大阪府大阪市北区中之島3-6-32 ダイビル本館19F
東京本社：東京都渋谷区渋谷3-28-15 渋谷5.野口Bldg.5F
E-mail: agh@charmcc.jp HP: https://www.aghccc.com

